



えちごやは、個々の車体にあわせてLHロムのプログラムを変更している。マップのアドレスまで一部だけ特別に公開! ヒントになるかな? 知っている人にとっては懐かしいテクムのロムライター。



軽量化
ロッド。バランス合わせをしたコソの比較。



インジェクターのテスト風景。毎回インジェクターのテストをしてから使用。圧倒的強大パワーの秘密はこうした小さな蓄積であろう。



今月のヘアライン号DATA

- 走行距離 243,292km
- 月間走行距離 3,003km
- ガソリン 464.14ℓ
- 平均燃費 6.47km/ℓ
- エンジン載せ替え 233,944km

スーパー・オートバックス東雲店にて パワーチェック大会を開催

どれだけパワーが出るのか楽しみ

4月号のヘアライン号のパワーチェック結果に刺激されて開催することになったパワーチェック大会。今回はいつもお世話になっている人たちに集まつてもらつた。場所は東雲のスーパー・オートバックス。栄えある第一回目の優勝は418.9馬力を記録したJオートのE60LTD! 詳細は来月号を乞うご期待! こうして500E俱楽部パワー競争の火蓋は切って落とされた!

大きなショックを受けて、遠い目
オリジナルアルミ製
エアクリーナーを装着

1の等長タコ足によって、ダブルブレーンのクランクではないような排気音。ドロドロといった排気干涉の音は皆無で、まるでGT40か、ACコブラかといったところか。もうヘアライン号とは比較にならない。AMGだ、新品だ、速いだろと言つたところで所詮はつるしの既製品。その後、製作途中のエンジンを見ながら説明を受けると、バルブガイドは燐青銅、シートはベリリウムで、フリクションがかかるところはWPCやモリブデン溶射加工と徹底した軽量化。手の入り方が違う。ひ弱で高価なヘッドガスケットはメタルで作り直している。

布拉バスやAMGが当時できなかつたことを、現代日本の最先端技術でパワーを出すというのがオーナーの皆口さんの持論。6リッターのNAで、500馬力のGTRと最速で競り負けない500Eを造るの生き甲斐と熱く語る。



400E改6.0のエンジルーム、深紅のヘッドカバーと銀色の大容量エアクリーナー、ブーリーキット、10枚羽根のファンを装着。

クリーンエアを増やすための クリアランスを確保し容量をアップ

をしていると、「せっかく関東から来たのだから、調子が悪いって言う中古のインジェクターを換えてみなん。セッティングでもうちょっとは良くなるでしょ」とのありがたい声。早速BOSCHインジェクターの吐出量が多い2本を、空気量が多くなる4番、8番に配置することに決まり。そして、「えちごやは」の新製品であるアルミ製オリジナルエアクリーナーボックスを装着。このボックスは、エアクリーナー後のクリーニングの容量を増やすために約2センチほど高さをあげて、エアマスク/スロットルとのクリアランスを確保すると同時に、クリーナーボックス内の整流板を加工したもの。内部の仕切板を切つて整流効果を高める。加えてコールドエアが熱を持たないよう遮熱材を装着。これで、実感約20馬力アップ! といったところが楽しみ! ちなみに下にもあるように、パワーチェック大会の模様は来月に報告予定。

418.9馬力



500E俱楽部



第6回

熱血的W124愛好家の広場

布拉バスの6.2リッターとヘアライン号を比較するべく、愛知県にある「えちごや」を訪問した。試乗の結果はいかに!? その他エアクリーナーやキーレスなどの取り付けの模様も紹介しよう。

今月のメニュー

1. えちごや訪問
2. D.I.Y.できる小技集

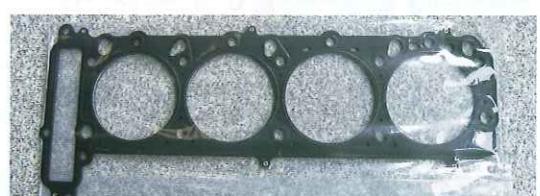


えちごや「皆口氏の400E改6.0」本誌発売時には6.2に換装予定! 気になるエンジンの費用は6.0で250万、6.2で350万~とAMGのエンジンの半額以下とリーズナブル。

尾張の国、名古屋で強者たちに出会つた
「一いちやん。AMGの6リッター
載せたんだって? 乗り比べさせてや
るから一度遊びに来てみい」との「え
ちごや」さんのお誘いに甘えて、一
路東海道を尾張の国、清須に行って
きた。
まず試乗させてもらったのが、ブ
ラバスの6.2リッター。オリジナル
のタコ足とフルデュアルのマフラーで
抜いた漆黒のボディは、これまでみ
た500の中で1、2位を争う程度
の良さ。もう、座った段階で勝負が
ついている感じ。オリジナルの熱吸
收ガラスの透明度からしてヘアライ
号とは違う雰囲気。

ブランプがつきっぱなしとなる。
A.S.R.ランプがついていないのに
気がつかないほどのトルクの波
瀧。パーシャルで乗り慣れない人には、
はドローンとした気持ちになら
まつた。それはヘアライン号とは比
べものにならないほど、フィーリン
グが良かつたからだ。
次に試乗したのが、銀色の400
リッターに換装したばかりという個
体は、先の布拉バスとは異なり、途
中で集合させたマフラーと4-in-1

**当時できなかつたことを
日本の技術でやる**



国産のメタルガスケット、102ミリまでのボア、高圧縮に耐えられる。純正より低価格というから嬉しい。

500E俱楽部

熱血的 W124 愛好家の広場

赤外線リモコンが不調のため
社外品のキーレスを装着

第2回目あたりからエンジン載せ替え等の大技ばかりで食傷気味なので、ローヤができる日常メンテの紹介！ 今回は、キーレスの取り付け。ヘアライン号は94年の後期モデルのため、純正で赤外線リモコンが装備されている。最近調子が悪く、電池を替えても作動しない時が増えた。純正交換も考えたが、最近は盗難防止のためか、並行車では対応してくれないディーラーも多い。本国発注も考えたが、本人確認と時間の問題があるので、社外のキーレスを採用することにした。

ヤフーオークションで見るとジャックナイフタイプの最安値は8800円とお手頃。早速、落札して取り付けることにした。作業は簡単なもので約30分で終了。ハザードの点滅と遠くからでも操作が可能なのはうれしいポイント。

ヒューズボックスのシールは劣化によって湿気を吸いやすくなる

エンジンのパワーチェックなどちょっと大技ばかりだったので、少し肩の力を抜いてライトなメンテナンスを紹介しよう。不調だった赤外線リモコンを社外品のキーレスに替え、ヒューズ交換も行なった。

作業手順ダイジェスト



日常メンテで交換した部品、ヒューズセット、電球、そして湿気進入を防ぐヒューズボックスのゴムパッキン。転ばぬ先の杖で車検毎の交換がおすすめ。



右リアシートを取り外し、エアポンプを取り出す。スポンジに包まれているので取り出しに注意。四角いカプラから電源を取り出す。



ドアロック用の黄色の2本の配線をカットして、キーレスの配線に繋ぐ。キーレスからの配線に繋いで右は終了。



左リアシートを取り外し、モジュールから太い配線の中からウインカーに繋がる配線を探し出して、キーレス配線に接続、ダイオードも忘れずに。

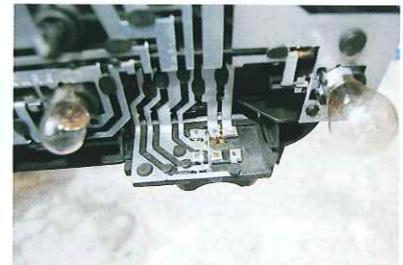
次号予告!!



左はJ-Auto Worksの500E、右が418.9馬力のE60のパワーチェックグラフとなる。関東の有名ショップ&猛者が集ったパワーチェック大会。みなさんも勇気を出して測る機会があったら是非、結果を聞かせてください！



カーナビゲーションで電圧表示を見るとその差が明らかになる。



腐食した基板と黒くなつて球切れ間近の電球。基盤が腐食して発火する事例もあるから注意が必要。

のW124以前のメルセデス

も、劣化によって湿気を吸いやすくなるとのこと。

早速交換してみると、あら不思議、

昇した。これまで「電圧不足です」と警告灯が出ることがあったが、こ

れなら大丈夫なはずだ。郡司さん

によると、電球も高い部品じゃない

から、トラブル予防のために定期的

に交換してほしいとのこと。ヘアラ

イン号の交換のためにリアのテール

ランプを見てみると、やはり腐食が

進行していた。これを放つておくと、

腐食や熱による発火トラブルが起

ることもあるので、電球交換時に

チェックをしておこう。



ヤフーオークションで見つけたキーレスセット。SAMISEN 正規代理店のスマイルカードでは本体が8800円、キー2本で1000円。ダイオード400円は別売で1年保証付き。「ジャーマンカーズ」見たでダイオードサービス！

ジャックナイフタイプではないキーレスは4980円と更に激安！！

ヒューズとヒューズボックスのシール保護することであるが、W124以前のメルセデス・ベンツの場合、コンセントラルタイプであるため接点が腐食しやすく国産のようなスチールでもないので、腐って必要電圧が下降してしまうことがある。またヒューズボックスのゴムシール